



企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/> まちづくり・市民参加



地域づくりの中の

清里ふるさと祭り

笠井 正雄

平成十八年四月、前橋市より地域づくりのモデル地区の指定をうけ「心豊かで活力あるまちづくり」を基本テーマとして、まちづくり検討委員会を中心として地域づくりのあり方を検討してまいりました。そんな中から四つの部会を設置しその一つに郷土の伝統行事の見直しと活性化部会で検討していた「まつり」を企画し、まちづくり協議会を通じて実行委員会を立ち上げました。



こうして平成八年八月を最後に休んでいた地区のまつりを十一年ぶりに復活したわけである。心配されていた当日の天気も曇り空であったが適度な気温で絶好のまつり日であった。午後三時より第一部の子どもの部がはじまり、午後六時より一般の部がはじまったわけである。人出も予想をはるかに超え千三百有余名となり関係者もほっとしたものであった。

参加した人の顔を見ると参加する楽しみと喜びでいっぱいであった。特に第二部は信号花火ではじまり、民謡おどり、盆おどり、八木



節と進みやはりクライマックスは前橋市長も一緒に観賞した清里打ち上げ花火であったと思う。花火の数も予想より多く壮観であった。抽選会もまつりの締めくくりに盛り上がりを見せた。こうして清里ふるさと祭りを通じて参加者の親睦が深まり地域活性化の起爆剤になれば幸である。

まつり開催にあたり御尽力された関係者各位に対し心より御礼申し上げます。なお次回からは一年おきに開催とのことですが、これからも長くつづくことを願うものである。

(まちづくり検討委員)

上青梨町

盆おどりについて

上青梨町盆踊り保存会第一清里ふるさと祭りが開催される事になり、保存会役員の方々と協議を行いました。保存会としては、後継者の育成をしながらの練習、六月下旬より毎週土曜日に祭り当日の舞台上がる事が出来ました。

清里地域という大勢の皆様方の前で行うのは、十一年振りとのことです。盛大に行う事が出来ました。上青梨町盆おどりもこれから長く続けていきたいと思っております。

育成会の皆様方による模擬店も子供たちに大人気が有り祭りを盛り上げて頂きありがとうございます。民謡おどり、八木節、盆おどり打ち上げ花火等お楽しみいただけたいでしょうか。

実行委員長以下、関係各位皆様方には大変お世話になり盛大に開催され誠にありがとうございました。

厚く御礼申し上げます。

交通規制を利用したの流しそめん

前原ふれあい・
いきいきサロン

民生児童委員

小池 直治

平成十四年八月初開催以来、連続六十回を数える前原いきいきサロン会員数十名、民生児童委員主催で、後援として自治会、保険推進員の協力のもと、高齢者及び一暮らしの方で七十歳から九十歳程度の方々が構成され、毎月第一月曜日午前十時から午後二時迄、昼食を食べながら皆なごやかに話を楽しみに参加してくれます。送迎してもらい出席する人もいます。平均二十名の方が、天候に関係なく参加します。内容としては、毎回転倒予防体操を三十分位、ボランイテアの方による、手品、読み聞かせ、上毛民話の会のお話、消費生活センターより悪徳商法についての寸劇等でも勉強してもらい、おれおれ詐欺から自分を守る方法も全員で学習できました。六月は現代に甦る二宮尊徳の教えを、元小学校長の山崎先生に講演してもらい、七月は地元の歌上手の方の協力出演で「歌謡ショー」も盛り

上がりました。平均寿命が大幅に伸びた昨今ですが、このサロン参加で脳の活性化促進により認知症予防、筋力アップで転倒防止に役立ち心身ともに健康長寿を達成できますよう積極的に取り組んで参りたいと思います。

枝豆の収穫まつり



二年 西田 けんこ

七月二十一日土曜日に、枝豆の収穫まつりに行ってきました。畑にいっぱい枝豆ができていて、びっくりしました。虫もたくさん飛んでいて、どうしてかなと思いました。枝豆を取るのは大変でした。おじさんが「上のほうに、もぐんだよ」と教えてくれました。じょうずに取れました。玉ねぎのドレッシングもおいしかったです。家に帰ってお母さんに枝豆をゆでてもらって食べたなら、とてもおいしかったです。ぼくのおじいちゃんも枝豆を作っていました。いっしょに畑に取りに行くことがあります。枝豆をもいだことはなかったの、こんどはたくさん手伝いたいのです。

まちづくりは人づくりから

子育て考(2)

松下 熙雄

日本の生徒や学生の学力水準は世界のトップクラスにあった。しかし、数年前からシンガポール、韓国、台湾等にその座を奪われてしまった。政財界をはじめ各方面から大きな議論が起こり、その要因は「ゆとり教育」にあるとして、その改善がなされようとしている。ゆとり教育で問題となったのは、一週間の授業時間を二十八時間とし、土曜日は休業日、指導内容を削減したところにある。安倍首相は教育再生会議を立ち上げ、教育に競争原理を導入したり、教員免許状を十年毎に更新するなど検討されている。

日本でも昭和三十年代の教育では、中学校の補習授業が毎日行われていた。また、業者テストがあり、月例テスト、模擬テストが毎月実施され、自分の学力は偏差値により手にとるようになり、ランク付けされていた。学校教育に競争原理が導入された典型的なものであった。しかし、平成の世となり、その反省の上で「夢と希望を育む進路指導」が主流となり、業者テストは廃止され、一方ではゆとり教育と誤解されるようになった。また、教育界にも誤った平等主義を主張する一派があった。運動会で順位づけができないように事前に競走させて同じレベルの子供同志で徒競走させたり、成績の優秀者名を廊下等に貼り出すことはなくなった。ところが台湾の中学校では、各教科毎の成績優秀者が成績順に貼り出されている。中国の小学校では成績優秀者は真紅のネツカチーフを首に巻いていたり、韓国でも成績が公表されている実態がある。

子供の頭脳は皆優秀で無限の可能性を秘めている。「鉄は熱いうち打て」といわれるように、幼少時から学習の大切さ、自分から学び喜び、楽しさをもたせることは大切ではないでしょうか。

お知らせコーナー

「清里ふるさと祭り」では、みな様に大変お世話になりました。

(郷土の伝統行事の直しと活性化部会)

事務広報部会では、多くの方々から寄稿を募集します。

清里まちづくりに対する意見、地域の皆さんに伝えたい事等を募集します。

(事務広報部会)

